

様式第1(第3条、第6条関係)

(表)

水道施設等維持管理調査票

年 月 日

施設区分 ア 専用水道施設
 イ 飲料水供給施設

施設名 _____

所在地 _____ 調査員 職氏名 _____

立会者(水道技術管理者)職氏名 _____

1 監視に関する項目

番号	項目		内 容	結 果	備 考		
1	一 般 事 項		水圧に関する苦情はあるか。	なし・あり			
2	施設管理	清潔の保持	施設を常に清潔に保持し、水の汚染防止に努めているか。	適・不適			
3		汚 染 防 止	保安柵、施錠等により、関係者以外の侵入汚染防止措置が講じられているか。	適・不適	回/		
4			定期的に巡回し、汚染の早期発見に努めているか。	適・不適			
5	取水施設	水 質 監 視	魚類飼育による監視を行っているか。	適・不適・非該当			
6			水質計器等により有害物質に対する監視を行っているか。	適・不適・非該当			
7	浄水施設	計 装 機 器	濁度、水素イオン濃度指数、水位及び水量の測定のための設備が設けられているか。	適・不適			
8		緩速ろ過	沈殿池	沈殿水濁度は適正に管理されているか。	適・不適・非該当	ろ過速度 メートル/日	
9			ろ過池	ろ過速度は、適正に管理されているか。	適・不適・非該当		
10				ろ過砂は、適正に管理されているか。	適・不適・非該当		
11		急速ろ過	凝集剤	凝集剤は、適正に注入されているか。	適・不適・非該当	注入率 ミリグラム/リットル	
12			フロック形成池	フロックは、良好に形成されているか。	適・不適・非該当		
13				沈殿池	フロックの沈殿は、十分に行われているか。		適・不適・非該当
14			ろ過池	ろ過速度は、適正に管理されているか。	適・不適・非該当		ろ過速度 メートル/日
15		ろ過砂は、適正に管理されているか。		適・不適・非該当			
16		膜ろ過	膜ろ過	凝集剤等により前処理する場合、適正に処理されているか。	適・不適・非該当	凝集剤注入率 ミリグラム/リットル	
17				膜の洗浄は、適正に行われているか。	適・不適・非該当		
18				膜ろ過水濁度等、ろ過水質は適正か。	適・不適・非該当		濁 度
19				異常時に浄水施設の運転を速やかに停止することができる設備が設けられているか。	適・不適・非該当		
20		活性炭設備	粉 末 活 性 炭	粉末活性炭の接触は、適正に管理されているか。	適・不適・非該当		
21				粉末活性炭は、適正に除去されているか。	適・不適・非該当		
22	粒 状 活 性 炭			粒状活性炭の接触は、適正に管理されているか。	適・不適・非該当		
23			粒状活性炭に付着した浮遊物質は、適正に除去されているか。	適・不適・非該当			
24			粒状活性炭層内の微生物が浄水に漏出していないか。	適・不適・非該当			
25	オゾン設備		オゾン設備の後に活性炭設備が設けられているか。	適・不適・非該当			
26	薬品設備	施設基準	薬品等注入設備が設けられているか。	適・不適・非該当			
27			消毒の接触は、適正に管理されているか。	適・不適			
28		消毒設備	消毒剤の注入量調節設備が設けられているか。	適・不適			
29	予備設備が設けられているか。		適・不適				
30	排水設備	排水設備	公共用水域に放流する場合は、中和設備等が設けられているか。	適・不適・非該当			
31			排水を原水として用いている場合は、適正な水質監視を行っているか。	適・不適・非該当			
32	送水設備	施設基準	送水管内で負圧が生じないために、サージタンク等の措置が講じられているか。	適・不適・非該当			

(裏)

番号	項目	内容	結果	備考		
33	配水設備	消毒	給水栓末端で遊離残留塩素濃度が0.1ミリグラム/リットル以上に保持されているか。	適・不適		
34		施設基準	配水施設内の浄水を採水する施設があるか。	適・不適	配水池名称	
35		配水池	床下槽、地盤及び防虫網等の竹葉防止措置を講じているか。	適・不適		
36	水質管理	水質検査計画	毎事業年度開始前に策定しているか。	適・不適	年 月実施	
37		原水検査	原水の全項目検査を年1回以上実施しているか。	適・不適・非該当		
38		定期(臨時)の水質検査	適切な場所で採水しているか。	適・不適		
39			給水栓(供給点)において、毎日、色・濁り・残留塩素濃度等の検査を行っているか。	適・不適		
40			全ての浄水(配水)系統の給水栓において、毎月項目及び必要な項目の検査を行っているか。	適・不適		
41			検査頻度及び検査の省略等についての理由は適正か。	適・不適		
42		水質検査	結果が基準不適の場合、適切に対処しているか。	適・不適・非該当		方法
43			(自己検査)水質検査の精度管理を実施しているか。	適・不適・非該当		水質検査委託先
44			(委託検査)書面による委託契約の内容は適切か。	適・不適・非該当		
45			クリプトスポリジウムによる汚染のおそれはあるか。	なし・あり・非該当		
46	ろ過池出口の濁度	クリプトスポリジウムによる汚染のおそれがあると判断された浄水場では、ろ過池出口の濁度は0.1度以下に保持されているか。	適・不適・非該当			
47	結果保存	結果は5年以上保存されているか。	適・不適			
48	認可	給水量	計画給水人口、計画給水量は適切か。	適・不適	計画給水人口	
49		水源種別	水源種別を変更する必要があるか。	なし・あり	人	
50		取水地点	取水地点を変更(新たに井戸を掘削)する考えはあるか。	なし・あり		
51		浄水方法	浄水方法を変更する考えはあるか。	なし・あり	計画給水量(1日最大) 立方メートル	
52	その他	危機管理	水質汚染事故等の緊急時における危機管理体制は、マニュアル化されているか。	なし・あり	第三者委託先 一部の場合の範囲	
53		健康診断	水道業務従事者等について健康診断を行い、その記録を1年間保存しているか。	適・不適		
54		水道技術管理者等	組織の位置付けが適正か。	適・不適		
55			変更した場合は、変更届を提出しているか。	適・不適・非該当		
56		断減水状況	災害、水質事故等による断減水の発生はあるか。	なし・あり		
57		苦情状況	住民からの苦情等でその対応に苦慮しているものはあるか。	なし・あり		
58		第三者委託	業務の全部又は一部を委託しているか。	なし・一部・全部		
59	委託している場合は、届出しているか。		適・不適・非該当			

2 検査に関する項目

番号	項目	浄水場出口	配水池出口	給水栓	備考
60	pH値				
61	遊離残留塩素濃度(ミリグラム/リットル)				

3 指示事項等

指示事項	改善状況

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

第1片

水道施設等検査台帳

		No.	
区分	ア専用水道施設 イ飲料水供給施設		
名称	電話() -		
所在地			
名称		管理者名	
水道技術管理者	(設置届: 年 月 日)	布設工事監督者	
水道法第24条の3に基づく業務委託の有無 (有の場合、委託業務の範囲) (委託先) (受託水道業務技術管理者)		有()・無 () ()	

1 沿革

名称	認可年月日	認可番号	認可変更内容	給水開始年月日	目標年次	計 画		
						給水人口	1日最大給水量	最大給水量
創 設								

(注) 認可変更内容欄には、「1 給水区域の拡張、2 給水人口の増加、3 給水量の増加、4 水源種別の変更、5 取水地点の変更、6 浄水方法の変更」の区分により該当する番号を記入する。

2 水道普及及び給水状況

	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末
給水区域内人口(人)					
現在給水人口(人)					
普及率(パーセント)					
最大給水量(立方メートル/日)					
平均給水量(立方メートル/日)					
1人最大給水量(リットル/人/日)					
1人平均給水量(リットル/人/日)					
有効率(パーセント)					
給水原価(円/立方メートル)					

3 水道料金(1か月あたり家庭用料金)

基本料金 円、10立方メートル使用料金 円(改定年月日: 年 月 日)

4 水道給水フロー図






番号*1	(取水施設)*2	(浄水施設)	(送水・配水施設)	(給水地区)

*1 番号は「6 浄水場等状況表」の番号と整合をとる。

*2 県水受水の取水施設は「受水場」等とする。

<凡例>

水道施設

- ・浄水場 : 
- ・送・配水施設 : 
- ・同一敷地内 : 
- ・自然流下 : 
- ・ポンプ圧送 : 

浄水処理; []

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1 急速ろ過 | 21 粉末活性炭 | 34 マイクロストレーナー |
| 2 緩速ろ過 | 22 粒状活性炭 | 35 二段凝集処理 |
| 3 消毒のみ | 23 オゾン処理 | 36 多層ろ過 |
| 4 膜ろ過 | 24 生物処理 | 37 鉄バクテリア利用法 |
| 5 膜ろ過(海水・淡水化) | 25 ストリッピング処理 | 38 酸処理 |
| 11 前塩素処理 | 31 エアレーション | 39 その他の浄水処理 |
| 12 中塩素処理 | 32 マンガン接触ろ過 | |
| 13 後塩素処理 | 33 アルカリ剤処理 | |

※番号は、水道統計調査水質編の浄水処理方法の入力要綱表示欄と同様である。

第3片

5 水源状況表

(No.)

水源 番号	*1 水源名称	*2 水源種別	水 源 所 在 地	規 模	計画取水量	取水実績 最大値 (立方メートル/日)	取水実績 平均値 (立方メートル/日)	*3 備 考

*1 全ての水源について記入すること。(予備水源、緊急水源を含む。)
 *2 右表から選択して記入すること。表流水・伏流水の場合は、河川名も併せて記入すること。
 *3 井戸の場合はストレーナーの位置を、県水受水の場合は県企業庁浄水場名を記入すること。
 また、計画及び休止の場合は、その区別を記入し、それぞれ使用開始予定年度及び休止開始年度も併記する。

ダム直後	伏流水	原水受水
ダム放流	浅井戸水	浄水受水
湖沼水	深井戸水	
表流水(自流)	ゆう水	

第4片

6 浄水場等状況表

(No.)

*1 番号	*2 浄水場等名	*3 水源番号	*4 浄水処理	計画能力 (立方メートル/日)	現在能力 (立方メートル/日)	浄水実績 最大値 (立方メートル/日)	浄水実績 最大値 (立方メートル/日)	備考

- *1 上水道事業については、水道統計調査の浄水場等コードと整合をとること。
- *2 全ての浄水場を記入することとし、計画の場合は備考に竣工予定年度を記入すること。
 県水の受水場についても記入し、浄水実績等には受水量を記入する。なお、当該浄水場の単独配水系統を存有しない場合は、他系統水と合流する配水池等も浄水場として記入すること。
- *3 5の水源状況表の水源番号を丸数字で記入すること。
 なお、他の浄水場系の送水を混合して配水する場合は、その浄水場等番号も記入すること。
- *4 右表から選択して番号を記入すること。

1 急速ろ過	21 粉末活性炭	34 マイクロストレーナー
2 緩速ろ過	22 粒状活性炭	35 二段凝集処理
3 消毒のみ	23 オゾン処理	36 多層ろ過
4 膜ろ過	24 生物処理	37 鉄バクテリア利用法
5 膜ろ過 <small>(海水・淡水化)</small>	25 ストリッピング処理	38 酸処理
11 前塩素処理	31 エアレーション	39 その他の浄水処理
12 中塩素処理	32 マンガン接触ろ過	
13 後塩素処理	33 アルカリ剤処理	

※番号は、水道統計調査水質編の浄水処理方法の入力要綱表示欄と同様である。

8 水質検査状況

(1) 自己検査項目と整備機器

ア 基準項目

[]

- A: フレームレス-原子吸光光度計
- B: ICP(誘導結合プラズマ発光分光分析装置)
- C: ICP-MS(誘導結合プラズマ質量分析装置)
- D: 還元気化-原子吸光光度計
- E: 水素化物発生-原子吸光光度計
- F: 水素化物発生-誘導結合プラズマ発光分光分析計 ()
- G: イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度計
- H: イオンクロマトグラフ(陰イオン)
- I: イオンクロマトグラフ(陽イオン)
- J: PT-GC-MS(パーティトラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計)
- K: HS-GC-MS(ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計)
- L: 固相抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析計
- M: 溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析計
- N: 溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析計
- O: 固相抽出-高速液体クロマトグラフ
- P: 固相抽出-吸光光度計
- Q: 流路型吸光光度計
- R: TOC(全有機炭素計)
- S: その他

イ 水質管理目標設定項目

[]

ウ その他

[]

(2) 委託検査機関と委託項目

委託検査機関名 _____

委託項目 _____

(3) 水質管理状況

年 月 日	不 適 項 目	浄 水 場 系 統 名	改 善 措 置 状 況 等

9 配水能力

配水池総有効容量 _____ 立方メートル (1日最大給水量の _____ 時間分)

10 応急給水用機材の備蓄状況

給 水 車	(容量) ×	(台)
給 水 タ ン ク 類	(容量) ×	(台)
ろ 水 機		(台)

11 維持管理指導状況

指導年月日	指 示 事 項	改 善 状 況

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

専用水道施設検査台帳

				番号	
1 設置者	住 所				
	氏 名(法人等の場合名称)				
	法人等の場合代表者の氏名				
2	水道事務所の所在地				
3	専用水道の名称		電話		
4	業務委託 有・無	委託先	氏名		
			住所		
		委託業務の範囲			
5	水道技術管理者委託(有・無)		住所		
			氏名		
	資格(学歴・経験年数)				
6 届出等の 状況	届出等年月日	内 容		備 考	
7 施設の 沿革	沿 革		創 設		
	項 目				
	確認(設置)年月日				
	確認 番 号				
	工期	着手予定年月日			
		完了予定年月日			
	給水開始年月日				
	給 水 人 口				
1日当たり 給水量(立方メートル)		平均			
		最大			
改 造 概 要					

*記載事項変更届の対象は1及び2

第2片

8 水源	自己水	No.	種類	規格(口径×深さ)等		受水		備考
		1						
		2						
		3						
9 取水ポンプ	No.	種類	台数	規格(口径×揚程×出力×揚水量) ミリメートル メートル キロワットリットル/分			備考	
	1							
	2							
	3							
	4							
# 浄水	構造・規模・数量	沈殿池		ろ過池		その他施設		
# 滅菌配水	構造・規模・数量	滅菌(型式×台数×吐出量)		配水池(受水槽)		高架(圧力)水槽		
# 配(揚)水ポンプ	No.	種類	台数	規格(口径×揚程×出力×揚水量) ミリメートル メートル キロワットリットル/分			備考	
	1							
	2							
	3							
	4							
# 配水管	口径(ミリメートル)	材質	小計(メートル)	計(メートル)		備考		
	200以上							
	100以上200未満							
	25以上100未満							
	25未満							
# 地震計画	東海地震防災応急計画		該当(有・無)		届出年月日			
	東南海・南海地震対策計画		該当(有・無)		届出年月日			
# 備考								

第3片

16 維持管理指導状況

指導年月日	指示事項	改善状況

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第4(第4条、第5条関係)

(表)

簡易専用水道等維持管理調査票

施設区分 ア 簡易専用水道 イ 小規模貯水槽水道

年 月 日

施設名 _____

所在地 _____

設置者(所有者)氏名 _____

立会者氏名 _____

調査員 職氏名 _____

指導区分
 ア 設置者等からの水質異常の連絡
 イ 設置者等からの管理不備の通報
 ウ 登録検査機関の検査が未受検
 エ 水道事業者からの通報
 オ 新規設置施設
 カ その他()

建物用途		ビル管理法の適用	有・無
施設概要	受水槽	高置水槽	
設置場所、材質及び有効容量	製、立方メートル	製、立方メートル	製、立方メートル

1 維持管理に関する項目

番号	項目	内容	結果	不適等内容
1	保守点検	施設の保守点検を定期的の実施しているか。	適・不適	
2		保守点検の結果、欠陥等を発見した時は速やかに改善の措置を行っているか。 (欠陥内容) (改善措置状況)	適・不適 非該当	
3	水質管理	末端給水栓水で残留塩素を1週間に1回以上測定しているか。	適・不適	
4		末端給水栓水で遊離残留塩素濃度を0.1ミリグラム/リットル以上に保持されているか。	適・不適	
5		毎日、末端給水栓水の色・濁り・臭い・味の外観検査を行っているか。	適・不適	
6		末端給水栓水の外観に異常が認められる時には、必要な項目について検査を行っているか。	適・不適 非該当	
7		施設を初めて使用する時は、水質検査を実施し水質基準に適合していることを確認しているか。	適・不適 非該当	
8	水槽清掃	水槽の清掃を1年に1回以上、定期的に行っているか。 (最近の清掃年月日 年 月 日)	適・不適	
9		水槽の清掃を自ら実施している場合は、適正に行われているか。	適・不適 非該当	
10		水槽清掃を委託している場合は、その委託先 (清掃業者名 :知事登録 有・無)		
11	防錆剤の使用	赤水対策として防錆剤を使用している場合は、注入方法・品質・水質検査等適切に管理されているか。	適・不適 非該当	
12	帳簿書類・記録の保存	次の帳簿書類及び記録を整理保存しているか。 ア 施設の設備配置図及び系統図(永年保存) イ 受水槽周囲の構造物の配置図(永年保存) ウ 水質管理の記録(3年以上保存) エ 水槽の清掃記録(3年以上保存)	適・不適	

2 登録検査機関の検査に関する項目

番号	項目	内容	結果	不適等内容
13	検査の受検	登録検査機関の検査を1年に1回以上、定期的に受けているか。	済・未済	
14	証書の保存	検査済証を3年以上保存しているか。	適・不適	

(裏)

3 施設の外観検査に関する項目

番号	項目	内 容	結 果		不適等内容
			受水槽	高置水槽	
15	水槽周囲	清潔でゴミ、汚物等が置かれていないか。	適・不適	適・不適	
16		周辺にたまり水、ゆう水等がないか。	適・不適	適・不適	
17	水槽本体	亀裂している箇所がないか。	適・不適	適・不適	
18		漏水している箇所がないか。	適・不適	適・不適	
19		槽壁、天井スラブにおける配管貫通部分等が防水密閉構造であるか。	適・不適	適・不適	
20	水槽上部	ふたの直接上部には、他の設備器機等が置かれていないか。	適・不適	適・不適	
21		上床盤の直接上部には、水を汚染するおそれのある設備、器機等が置かれていないか。	適・不適	適・不適	
22	水槽内部	汚泥、赤錆等の沈殿物が異常に存在していないか。	適・不適	適・不適	
23		当該施設以外の配管設備が設置されていないか。	適・不適	適・不適	
24		水中及び水面に異常な浮遊物がないか。	適・不適	適・不適	
25		水槽内に異物がないか。	適・不適	適・不適	
26	マンホール	ふたは、防水密閉型のものであるか。	適・不適	適・不適	
27		ほこりその他衛生上有害なものが入らない構造であるか。	適・不適	適・不適	
28		施錠されているか。	適・不適	適・不適	
29		マンホール面は、槽上面から10センチメートル以上立ち上がっているか、又はそれに代わる適切な構造であるか。	適・不適	適・不適	
30	オーバーフロー管	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない構造であるか。	適・不適	適・不適	
31		管端部の防虫網が正常であるか。	適・不適	適・不適	
32		管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないか。	適・不適	適・不適	
33		管端部と排水管の流入口等との間隔は、オーバーフロー管の管径の2倍以上であるか。	適・不適	適・不適	
34	通 気 管	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない構造であるか。	適・不適	適・不適	
35		管端部の防虫網が正常であるか。	適・不適	適・不適	
36		揚水管の管径の1/2以上の管径に相当する有効断面積があるか。	適・不適	適・不適	
37	水 抜 管	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないか。	適・不適	適・不適	
38		管端部と排水管の流入口等との間隔は、水抜管の管径の2倍以上であるか。	適・不適	適・不適	
39	給 水 管	当該施設以外の配管と直接連結されていないか。	適・不適		
40		水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないか。	適・不適		

4 水質検査に関する項目(給水栓水)

41 色	42 濁り	43 臭い	44 味	45遊離残留塩素濃度	
異常(無・有)	異常(無・有)	異常(無・有)	異常(無・有)	ミリグラム/リットル	

5 指示事項等

指 示 事 項	改 善 状 況

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

簡易専用水道台帳

番号	建 物			設置者(所有者)			届出日	設置年月	受水槽		滅菌器の有無	備 考
	所 在 地	名 称	電話番号	住 所	氏名又は名称	電話番号			数	合計容量(m3)		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第6(第5条関係)

小規模貯水槽水道施設名簿

No.

番号	建物名称	所在地	設置者等氏名	連絡先

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(表)

井戸等自己水施設維持管理調査票

年 月 日

施設名 _____

立会者氏名 _____

調査員 職氏名 _____

所在地											
所有者等氏名	連絡先 () -										
給水区域	1 内	2 外	施設区分 ^(注)	1	2	3	4	5	6	7	8
水道の布設	1 有	2 無	井戸等の用途	1 飲用	2 雑用	3 飲用及び雑用					
井戸等の利用 戸数及び人口	戸 人										
井戸等の種別	1 井戸(深さ _____メートル ; ストレーナー位置 _____メートル) 2 ゆう水 3 沢水 4 伏流水 5 その他(_____)										
取水方法	1 ポンプ 2 自然流下 3 手くみ 4 その他(_____)										

(注)施設区分欄の番号は、1 個人住宅、2 共同住宅(社宅、寮を含む。)、3 学校・保育園、4 病院、5 店舗、6 工場、7 その他事業所、8 その他 とする。

1 維持管理に関する項目

番号	項目	内 容	結 果	不適等内容
1	保守点検	施設の保守点検を、定期的に行っているか。	適・不適	
2		保守点検の結果、欠陥等を発見した時は速やかに改善の措置を行っているか。 (欠陥内容) (改善措置状況)	適・不適 非該当	
3	水質管理	次亜塩素酸ナトリウム等の消毒剤の自動注入設備等を用いて消毒を行い、その設備を適正に管理しているか。	適・不適 非該当	
4		末端給水栓水で残留塩素を1週間に1回以上測定しているか。	適・不適 非該当	
5		末端給水栓水で遊離残留塩素濃度を0.1ミリグラム/リットル以上に保持されているか。	適・不適 非該当	
6		給水栓水の水質検査を1年に1回以上行っているか。 (検査項目)ア 一般項目 イ 全項目 ウ トリクロエチレン等 (検査結果) 適・不適(不適項目 _____)	適・不適	
7		施設を初めて使用するときは、水質検査を実施し、水質基準に適合していることを確認しているか。	適・不適	
8	水槽清掃	水槽を有する場合は、1年に1回以上、定期的に行っているか。(最近の清掃年月日 年 月 日)	適・不適 非該当	
9		水槽の清掃を自ら実施している場合は、適正に行われているか。	適・不適 非該当	
10		水槽清掃を委託している場合は、その委託先(清掃業者名 _____ :知事登録 有・無)		
11	帳簿書類・記録の保存	次の帳簿書類及び記録を整理・保存しているか。 (1) 施設の設備配置図及び系統図(永年保存) (2) 槽周囲の構造物の配置図(永年保存) (3) 水質管理の記録(3年間保存) (4) 水槽の清掃記録(3年間保存)	適・不適	
12	防錆剤の使用	赤水対策として防錆剤を使用している場合は、注入方法・品質・水質検査等適切に管理されているか。	適・不適 非該当	
13	その他	ろ過装置を用いて浄化しているか。	適・不適	
14		未消毒の場合は、井戸水が微生物等に汚染されるおそれがあるので、煮沸して飲用しているか。	適・不適 非該当	
15		給水栓の水に色、濁り、臭い、味その他異常が発生したときは、速やかに市へ連絡しているか。	適・不適 非該当	

2 水質検査に関する項目(給水栓水)

16 色	17 濁り	18 臭い	19 味	20 遊離残留塩素濃度	
異常(無・有)	異常(無・有)	異常(無・有)	異常(無・有)	ミリグラム/リットル	

(裏)

3 指示事項等

指 示 事 項	改 善 状 況

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(裏)

井戸台帳の記入要領

- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | 番号 | 連番とする。 |
| 2 | 施設の所在地 | 井戸の所在地とする。所有者等の所在地と異なる場合は、()内に所有者等の所在地を記入する。 |
| 3 | 所有者等氏名 | 所有者又は井戸使用者の氏名を記入する。 |
| 4 | 連絡先 | 電話番号を記入する。 |
| 5 | 施設区分 | 次の区分により番号を記入する。
1 個人住宅
2 共同住宅(社宅、寮を含む。)
3 学校、保育園
4 病院
5 店舗
6 工場
7 その他の事業所
8 その他 |
| 6 | 給水区域 | 給水区域の内外について、「内」又は「外」を記入する。 |
| 7 | 水道布設 | 水道の布設の有無について、「有」又は「無」を記入する。 |
| 8 | 井戸等の飲用 | 井戸等の飲用の有無について、「有」又は「無」を記入する。 |
| 9 | 井戸等の利用状況 | 戸数 : 当該井戸等を利用している住宅戸数を記入する。
人口 : 当該井戸等を利用している人数を記入する。 |
| 10 | 井戸等の種別 | 次の区分により番号を記入する。
1 井戸
2 ゆう水
3 沢水
4 伏流水
5 その他 |
| | 深さ | 「井戸等の種別」が井戸の場合、当該井戸の深さをメートル単位で記入する。 |
| | ストレーナー | 「井戸等の種別」が井戸でストレーナーの位置が分かる場合には、主なストレーナーの深さをメートル単位で記入する。 |
| 11 | 取水方法 | 次の区分により番号を記入する。
1 ポンプ
2 自然流下
3 手くみ
4 その他 |
| 12 | 備考 | 上記5, 10, 11で「その他」を記入した場合、具体的な内容を記入する。 |

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

検査結果票

年 月 日

施設区分 ア 専用水道施設
イ 簡易専用水道施設
ウ 飲料水供給施設
エ 井戸等自己水施設
オ 小規模貯水槽水道施設

名称 _____

所在地 _____

氏名 _____ 様

立会者職氏名 _____

職氏名 _____

年 月 日に実施した検査の結果、下記のとおりです。

改善を要す事項	備考

上記事項については、次により措置してください。(該当の項目に○印)

- 1 速やかに改善し、監視員の求めに応じて提出できるよう大切に保管してください。
- 2 上記事項について 月 日までに改善状況を市長あて報告すること。

受領者職・氏名 _____